

若林地区 意見交換概要

日時 令和4年6月 29 日(水) 19:30～20:30

場所 若林公民館

出席 39 名

No.	発言要旨	市長回答要旨
1	新聞に明石市の人口が増えているという記事があった。明石市長が出した本の中に、どんどん子供のために予算を使う予算支出の仕方、少しずつ人口が増えてきたとあった。不妊治療関係も、徹底して助成している。人口が増えることにより、自主財源が増え、それを高齢者、他の事業に使えるので、何かに特化した予算配分が必要だと思う。	子供を真ん中にした市政に取り組む政策は、ソフトとして実施しなければならない。明石市は大阪・神戸といった大都市に挟まれていて地理的優位性がある。市では、不妊治療、それから不育症の治療を県内で先駆けて取り組んでいる。加えて、子供医療費についても、県内、先駆けて無料化した。これからは、「結婚・妊娠・子育て」にシフトし、まず、結婚していただかなければ少子化は止まらないので、どうすれば、結婚していただけるかということも考えていかなければならない。
2	防犯カメラについては、各自治会で自主的に補助金を申請し、設置するというシステムになっている。警察の再編問題で、若林地区の駐在所がどうなるか不安である。市で、主要幹線道路に防犯カメラを計画的に設置してほしい。	現在、警察署と協議し、防犯カメラを幹線に設置している。住み続けたいと思ってもらうためには、安全安心が第一であるので取り組んでいきたい。
3	市と砺波市、東京農業大学がタイアップして、園芸高校を核とする農業の短大クラスの学校ができないか。若い人が増え、人口増加に繋がるのではないか。	議会でも東京農業大学との連携について質問があった。砺波地方に東京農大の短期学部を持つてくることは厳しいが、東京農大はホッケーが強く、石動高校のホッケー部から何人も進学しているし、卒業生の市内在住者も多いので、そのネットワークを生かしていきたい。
4	テレワークをしてみたい街として、全国4つのうちの1つに選ばれた話があった。そのような良い話をしていただくと、私もどこかで宣伝できると思う。小矢部市の良いところをピックアップし、市民に意識してもらおうと、人口増に繋がるのではないか。	小矢部市はアピールが下手で、今、シティプロモーション事業に取り組んでいる。他から見ると、すごく良いところだが、市民はあまり良いと思っていないというところがたくさんある。シティプロモーション事業では、そういったものを積極的に発信していきたい。
5	水牧地区は早い時期に区画整理がされ、昔の区画なので狭い道が多い。細い道を舗装するよりも、機械が圃場に入るときなどの安全確保のため、道幅を広げてほしい。	農道なので、拡幅できるようであれば、拡幅していかなければならない。今、農林水産省は、大区画化に持っていく方向性である。